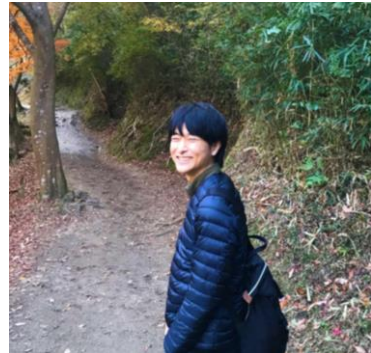




ふりがな 氏名	のぞら ゆうき	都道府県	大阪府	
	野寺 祐生			
所属/肩書	大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング 専攻修士			
私のESD活動	Bangladesh の子供たちを笑顔にするものづくり映像 授業の実践			
関心・活動のSDGs	 			

活動の概要

現在、Bangladesh では第三次初等教育開発計画により、教育の量から質への改善に向かっている。質の問題は主に、「現場の教員数の不足」「教員の能力不足」に起因する教科書を暗唱するだけの暗記中心型の授業にある。それに伴い、子供の論理的思考力を育む機会が乏しいことが問題となっている。このようなことから教員の負担を減らすとともに論理的思考力を育む授業が必要とされており、私は、ものづくり授業を行うことにより解決を試みている。昨年度の活動では、実際に現地でものづくり授業を行った。授業内容としては空気鉄砲を作製し、より遠くに飛ばすための工夫を考えさせることで論理的思考力や主体性の向上を図った。現地教員の方々からは「このような授業が Bangladesh には必要だ」と前向きな意見をいただいた。さらに、現地の NGO、NPO、私立小学校の校長からも高評価をいただき、内1校が導入してくださるという結果を得た。一方で、教員の数が不足しているため、実際に現地で継続的に行うことは難しいという知見も得られた。そのため、授業実施時における教員の負担を軽減するために、現在はものづくり授業の一部を映像化することに取り組んでいる。

・「Bamb-EE」 <https://www.facebook.com/MonozukuriEducation/?ref=bookmarks>

・「Gakuvo Style Fund 活動報告」 <http://gakuvo.jp/katsudou2018/bacavo01/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

私は、コンファレンスへの参加を通じ、「実践の場に戻っても応援しあえる仲間を得ること」「自身の活動に落とし込める新たな気づきを、講演や参加者とのディスカッションから得ること」を達成したい。私の取り組む「Bangladesh の子供たちを笑顔にするものづくり映像授業の実践」の子供達へ期待する効果は、「ものづくりを通して実際に手を動かすことで達成感や満足感を味わい、ものづくりの際に目的意識を持ち、仮説・検証を行うことで、論理的思考力を育むこと」である。また、論理的思考力は短期的ではなく長期的に育むことで身に付くものであるため、ものづくり教育を継続的に行う必要があると考えている。そのために、現在想定している普及計画や、今後の活動の発展性などに関して、第三者と本気でディスカッションすることは非常に重要であると考えている。今後の活動のさらなる発展と一緒に目指せる仲間を見つけることや、アイデアをブラッシュアップすることはいくらやっても足りるものではない。そして、最終的にはものづくり教育を Bangladesh で広く浸透させ、過度に暗記に頼る Bangladesh の教育の質の底上げ、教育格差縮小に貢献したい。